



YASKAWA

株主のみなさまへ

## 第90期 中間報告書

平成17年3月21日 ▶ 平成17年9月20日

機械と人間の共生へ—Quality & Beauty  
株式会社 安川電機

## 株主のみなさまへ



株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

第90期上半期(平成17年3月21日から平成17年9月20日まで)における当社および子会社、関連会社を含む当グループの業績について、概要をご報告申し上げます。

当上半期における世界経済は、当グループの主要な市場である欧米、アジアでは、ともに総じて堅調に推移いたしました。国内では、設備投資の回復や雇用状況、個人消費の持ち直しにより、景気回復傾向を徐々に強めてまいりましたが、夏場以降の原油価格の高騰による先行き懸念も出てまいりました。

このような経済環境の下、当グループは、高収益企業への転換を目指した中期経営計画“Win21プラス”の最終年度を迎えております。売上高目標につきましては、昨年度に計画を1年前倒して達成いたしました、

仕上げの年となる今年度は、構造改革の成果をさらに拡大させ、事業の競争力強化、および効率的な事業運営が継続的に実現できる揺るぎない高収益企業体質の構築に取り組んでおります。

特に昨年度以降、市場戦略とイノベーションにより高付加価値化および事業拡大の実現に向けた方策をスピードを上げて展開するとともに、営業活動の強化と新製品の早期戦力化による、利益率の高い市場・顧客への拡販を行い、収益力向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は前年同期並みの1,461億1百万円でしたが、損益面では、営業利益は前年同期比15.8%増の81億61百万円、経常利益は前年同期比13.7%増の81億89百万円、中間純利益は前年同期比27.2%増の27億48百万円となりました。

今後の景気の見通しにつきましては、IT関連産業の在庫調整がほぼ一巡したものの、原油価格高騰の長期化、米国経済の減速懸念や、資材価格の上昇など、景気の先行き不透明感もあり、予断を許さぬ状況が続くものと思われれます。

このような状況の中、当グループとしましては、中・長期的に成長市場である半導体市場の立ち上がり、液晶市場の回復を確実に受注につなぐとともに、堅調な自動車市場向けの深耕、海外市場の拡大に努めてまいります。

さらに、高収益企業体質の完成に向けて、より利益率の高い市場・製品の重点的な拡販や、コストダウンを図った新製品への切替えを継続実施してまいります。

生産面では、ロボットの新工場建設により月産2,000台体制を確立する等、より強固な生産体制を構築するとともに、受注から納入までのリードタイム短縮や、海外生産も含めたさらなる低コスト生産の推進により、収益力を持続的に向上させ、一層の利益改善に努めてまいります。

事業拡大については、営業戦略と開発戦略の連携強化に加え、下期からは新規事業推進室を発足させ、マーケティング強化による市場攻略および戦略的新製品のタイムリーな投入に努めてまいります。

中期的な視野に立った施策としては、将来の競争力や成長性を確保するため、次世代の新たな中核技術の開発・育成を加速するとともに、品質および技術を核としたブランド価値の向上に努めてまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

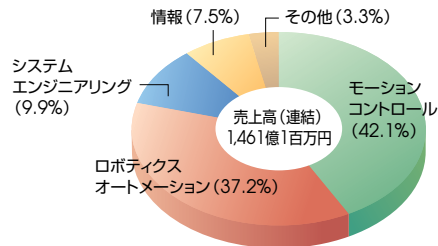
平成17年12月

取締役社長

利島 康司

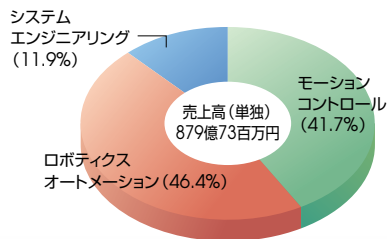
## 第90期上半期 売上高構成比

### ● 連結



営業利益：81億61百万円  
 経常利益：81億89百万円  
 中間純利益：27億48百万円

### ● 単独



営業利益：16億89百万円  
 経常利益：42億17百万円  
 中間純利益：5億40百万円

## モーションコントロール



### 主要製品

ACサーボモータ・制御装置	高速モータ	プログラマブルコントローラ
汎用インバータ	小形精密モータ	マシンコントローラ
工作機械用AC主軸モータ・制御装置	複合モータ	NCシステム
リニアモータ・制御装置	省エネモータ・インバータ	ビジョンシステム
DCサーボモータ・制御装置	高周波インバータ	その他

当部門においては、営業活動の強化や、海外生産、海外部品調達の拡大により一層のコストダウンを行い、収益改善に努めてまいりました。

ACサーボモータは、半導体・液晶関連市場の需要回復の兆しが出てきたものの、立ち上がりは鈍く、前年同期レベルまでの回復には至りませんでした。しかし、工作機、金属加工機市場が

堅調に推移し、前年同期並みとなりました。また、インバータも比較的堅調に推移いたしました。

この結果、部門全体では、売上高は前年同期比0.3%増の615億20百万円、営業利益は、高付加価値製品の減少等もあり、前年同期比7.5%減の46億11百万円となりました。

## ロボティクスオートメーション



### 主要製品

アーク溶接ロボット	特殊アクチュエータ
スポット溶接ロボット	クリーン・真空内搬送システム
塗装ロボット	ロボット応用FAシステム
ハンドリングロボット	医療・福祉サービスロボット
半導体・液晶製造装置用クリーン・真空ロボット	その他

当部門においては、前年度からの好調な受注に対応するため生産体制を強化し、高い市場シェアをもった競争力のある中核製品の拡販に努めました。自動車関連業界向けは、アーク溶接・スポット溶接用および塗装用ロボットが引き続き好調に推移いたしました。

液晶ガラス搬送用ロボットは、ガラス基板の大形化に対応した新機種のタイムリーな投入と

拡販に努め、半導体製造装置向けクリーン・真空ロボットは顧客との共同開発、新規顧客の開拓を進めました。

この結果、部門全体では、売上高は前年同期比7.6%増の543億42百万円、営業利益は、生産体制の改善効果等もあり前年同期比59.7%増の44億8百万円となりました。



### ≡ 主要製品 ≡

鉄鋼プラント用電機システム  
 上下水道用電気計装システム  
 道路設備電源システム  
 環境プラント用電機システム  
 エレベータ制御システム

パワーメカトロシステム  
 港湾荷役用クレーン制御システム  
 紙・フィルム・液晶等可変速ドライブシステム  
 システム情報制御機器  
 中容量高圧インバータ

高圧開閉装置  
 コントロールセンタ  
 システム用制御盤  
 電力用配電機器  
 永久磁石内蔵形回転機

中大形誘導電動機  
 中形発電機および発電装置  
 その他産業用回転機  
 その他

当部門においては、中核となる事業および得意分野に特化した利益構造の改革を推進してまいりました。上下水道用電気計装システムは競争激化の影響を受けましたが、鉄鋼関連向けは、鋼材の需要増に対応する設備更新需要を取り込むとともに、新たな市場を開拓するため、高圧

インバータ、エレベータ用電気品などの新システム機器の拡販に努めました。

この結果、部門全体では、売上高は前年同期比9.9%減の144億13百万円、営業損益は前年同期に比べ2億98百万円改善しましたが、18億60百万円の損失となりました。



### ≡ 主要製品 ≡

#### 情報

- ・フロッピーディスクドライブ
- ・二次元コードマーキング・読取装置
- ・情報処理ソフトおよびサービス
- ・OA機器
- ・その他

#### その他

- ・物流サービス
- ・人材派遣
- ・その他

情報部門においては、情報サービス産業では、製品・サービスの価格条件悪化や高付加価値事業の売上減少の影響を受けました。また、コンピュータ周辺機器事業も、フロッピーディスクドライブの需要減少等の影響を受けました。

その他の部門においては、売上高は前年同期比26.2%減の47億99百万円、営業利益は前年同期比4.4%増の8億22百万円となりました。

この結果、部門全体では、売上高は前年同期比5.7%減の110億25百万円、営業利益は前年同期比67.8%減の1億97百万円となりました。

モーションコントロール

環境対応形モータドライブ  
Varispeed AC

人と地球にやさしい  
省エネモータドライブ



近年電力変換分野で注目を浴びている、交流電源から交流出力へ直接変換する装置「マトリックスコンバータ回路」を応用したモータドライブを世界に先駆けて商品化しました。

インバータドライブの課題であった電源高調波\*1の抑制と、電源回生\*2の有効活用による省エネ効果の向上に成功し、人と地球にやさしいモータドライブとして活躍の場を広げてまいります。

主な用途

- 病院、学校、オフィスビル  
電源高調波対策が必ず必要とされる場所の空調ファン、給水ポンプ、エレベータなどの可変速用途
- クレーン、エレベータ、エスカレータ  
回生電力が大きい昇降用途
- 遠心分離機、フィルムラインの巻き出し機  
長時間回生用途

\*1 電源高調波：商用電力の正弦波（基本波）に対する歪みの度合いのことで、この歪みを生じさせる電流を電源高調波電流といいます。

\*2 電源回生：モータ減速時に発生する電力を電源に戻して再利用することを電源回生といいます。

ロボティクスオートメーション

## 高品質デジタルアーク溶接ロボットパッケージ MOTOPAC-WL100

### 最新技術で、 アルミ素材を美しく溶接する！

アーク溶接の主要販売先である自動車産業では、“環境にやさしい”“高い安全性”をテーマに車の使用素材がアルミ、ステンレス、高張力鋼などへ変化しています。これら多様な素材に対応するため、新形溶接電源MOTO WELD-EL350を採用したアーク溶接ロボットパッケージを販売開始しました。

溶接中に発生する火花によって付着する金属を極限までなくし、当社最高品質をご提供します。

#### 主な用途

アルミ、ステンレス、軟鋼、メッキ鋼板など  
(板厚1.0mm～)の溶接



MOTOMAN専用  
制御装置 NX100

MOTOMAN-  
EA1400N

新形溶接電源  
MOTO WELD-  
EL350

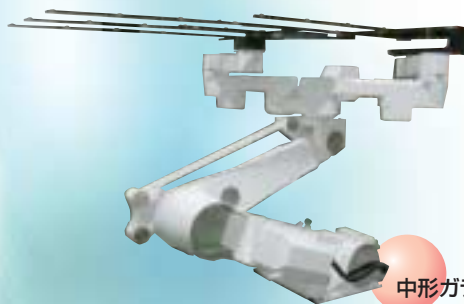
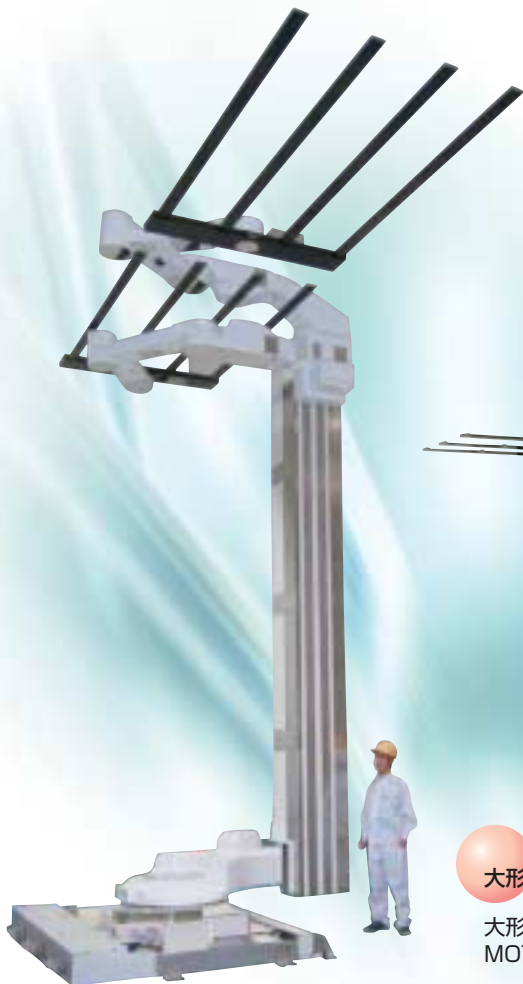
アーク溶接ロボットパッケージ  
MOTOPAC-WL100

ロボティクスオートメーション

次世代液晶ガラス基板搬送クリーンロボット  
MOTOMAN-CHL2400/-CSL1300 シリーズ

大形化と高速化に対応する  
2機種をラインアップ!

液晶TVの普及と価格競争によって、液晶パネルの原材料となるガラス基板の大形化と高速生産の2つのご要求に対応する必要があります。このため、高さ6メートルの大形ロボットと動作時間を半減(当社比)させた高速ロボットの2機種を商品化し、今まで以上のシェアアップを図ります。



中形ガラス基板 (1.3×1.1 m) 対応  
高速&双腕形ロボット  
MOTOMAN-CSL1300シリーズ

大形ガラス基板 (2.5×2.2 m) 対応、2枚同時搬送可能

大形&直動形ロボット  
MOTOMAN-CHL2400シリーズ



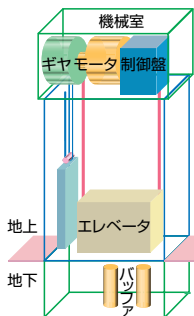
## 超薄形エレベータ制御装置

### 世界初! マトリックスコンバータ技術を採用

奥行き 10cmだから、機械室が不要になります!

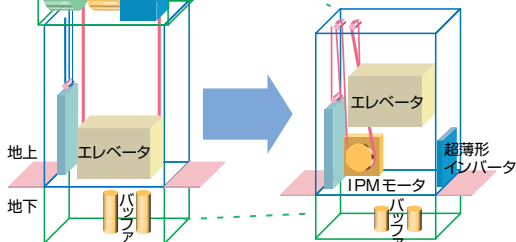
#### 従来のエレベータ

ギヤ、モータ、制御盤が入った  
機械室が必要



#### 機械室レスエレベータ

超薄形エレベータ制御装置は  
昇降路内に設置できるため、  
機械室が不要 (国内の適用例)



薄形IPMモータ

超薄形エレベータ制御装置

## 情報

株式会社 ワイ・イー・データ

## ExpressCard用アダプタ「Express Reader 5 in 1」

### 世界初! Push-Push方式採用



「ExpressCard」スロット搭載のノートPCが2005年春から発売され、今後増加傾向にあります。この次世代スロットに対応したアダプタを8月より販売開始しました。世界初のPush-Push方式採用、5つのメディアに対応した新商品で、データ高速転送、軽量・最小サイズなどの特長により、PCユーザーに多くの利便性を提供します。



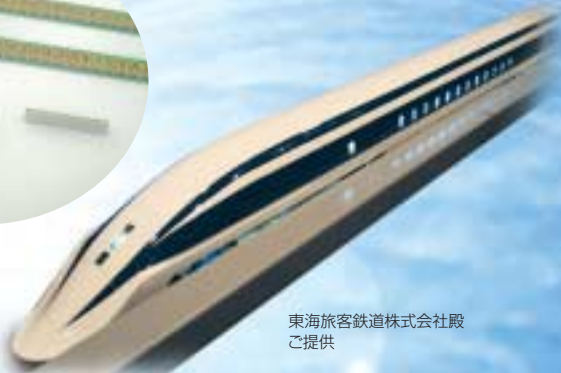
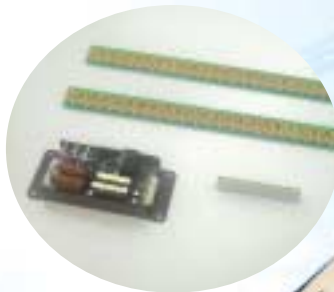
## 「愛・地球博」をアシストした安川の技術

2005年3月25日～9月25日

### TOPICS 1

当社のリニアモータ、サーボアンプ、コントローラが、「JR東海超電導リニア館」に展示されたリニアモーターカーの1/50スケールモデル(全長17m)に採用されました。

一般的なりニアモータは、コイル全体に電気を流していますが、今回は走行距離が17メートルと長いので、車輪のある部分にだけ電流を流す巻き線切り替え技術を活用し、少ない電力で走行を可能にしました。



東海旅客鉄道株式会社殿  
ご提供

## 当社の技術が、 いろいろな形で活躍しました！

### TOPICS 2



株式会社 トヨタ自動車殿ご提供

ロボットの指の関節に使う超小形のサーボアンプとモータなどの製品が、「トヨタグループ館」のパフォーマンスショーに出演したロボットに数多く採用されました。このロボットたちは体がスマートなため、配線を少なくしないと内蔵することができません。ここに当社の技術力を投入し、ロボット一体に30軸のモータを使用することで、トランペットを吹くという人間に近い器用な動きを実現しました。



TOPICS 3

2005年6月9日から19日まで開催された「プロトタイプロボット展\*」に次世代ロボット SmartPal を出展しました。ここでは、喫茶店のマスター役として、お客様からのご注文の品を取りに行き、配膳するというデモンストレーションを行いました。人間と同じ7つの関節を持っているので、物をつかんで渡すという仕事をこなすことができます。お客様とのユーモラスな会話も大変好評でした。今後もロボットと人間の長所を生かし、共存できる社会を目指して開発を続けてまいります。

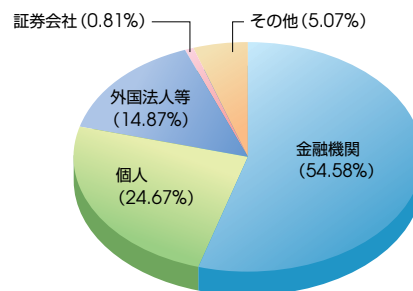
\*：(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構殿主催

会社が発行する株式の総数 …… 560,000 千株  
 発行済株式総数 …… 232,062 千株  
 株 主 数 …… 24,963 名

主要大株主

日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	20,430 千株	8.80%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	19,715 千株	8.49%
みずほ信託退職給付信託みずほコーポレート銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託	8,071 千株	3.47%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井信託銀行退職給付信託口)	7,970 千株	3.43%
明治安田生命保険相互会社	7,967 千株	3.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (住友信託銀行再信託分・株式会社福岡銀行退職給付信託口)	6,375 千株	2.74%
野村信託銀行株式会社(投信口)	5,428 千株	2.33%
日本生命保険相互会社	4,247 千株	1.83%
バンクオブニューヨークヨーロッパリミテッド131705	4,209 千株	1.81%
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	4,094 千株	1.76%

所有者別株式分布状況



# ▶▶ 連結財務諸表 (要約) (平成17年9月20日現在)

## ● 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	165,716	<b>流動負債</b>	127,962
現金及び預金	16,317	支払手形及び買掛金	60,415
受取手形及び売掛金	76,488	短期借入金	35,960
有価証券	68	未払費用	14,733
たな卸資産	59,092	その他	16,852
その他	14,674	<b>固定負債</b>	<b>72,778</b>
貸倒引当金	▲ 925	<b>負債合計</b>	<b>200,741</b>
<b>固定資産</b>	<b>81,133</b>	<b>少数株主持分</b>	
有形固定資産	38,037	少数株主持分	3,988
無形固定資産	8,799	<b>資本の部</b>	
投資その他の資産	34,296	資本金	15,541
投資有価証券	19,609	資本剰余金	11,012
繰延税金資産	11,681	利益剰余金	12,959
その他	3,442	その他有価証券評価差額金	2,656
貸倒引当金	▲ 437	為替換算調整勘定	242
		自己株式	▲ 292
		<b>資本合計</b>	<b>42,120</b>
<b>資産合計</b>	<b>246,849</b>	<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>246,849</b>

## ● 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

自平成17年3月21日		至平成17年9月20日	
売上高		146,101	
営業費用		137,940	
営業利益		8,161	
営業外収益		1,018	
営業外費用		989	
経常利益		8,189	
特別利益		91	
特別損失		3,381	
税金等調整前中間純利益		4,900	
法人税・住民税及び事業税		3,109	
法人税等調整額		▲ 1,026	
少数株主利益		67	
中間純利益		2,748	

## ● 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)

自平成17年3月21日 至平成17年9月20日

<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益		4,900
減価償却費		3,307
投資有価証券売却益		▲ 77
売上債権の増減額		15,160
たな卸資産の増減額		▲ 5,872
仕入債務の増減額		▲ 5,736
法人税等の支払額		▲ 6,910
その他		3,079
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>7,850</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産等の取得による支出		▲ 3,747
有形固定資産等の売却による収入		179
投資有価証券等の取得による支出		▲ 54
投資有価証券等の売却による収入		174
その他		▲ 129
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲ 3,576</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額		▲ 3,065
長期借入金の返済による支出		▲ 2,849
少数株主への配当金の支払額		▲ 88
その他		▲ 112
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		<b>▲ 6,027</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>		<b>122</b>
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>		<b>▲ 1,630</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>		<b>17,906</b>
<b>現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高</b>		<b>16,275</b>

## ▶▶▶ 単独財務諸表 (要約) (平成17年9月20日現在)

### ● 中間単独貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部		負債の部	
<b>流動資産</b>	<b>98,942</b>	<b>流動負債</b>	<b>82,135</b>
現金及び預金	8,912	支払手形	4,278
受取手形	6,765	買掛金	37,640
売掛金	42,089	短期借入金	19,299
有価証券	40	未払法人税等	514
たな卸資産	24,446	未払費用	8,769
繰延税金資産	2,260	その他	11,634
その他	14,906	<b>固定負債</b>	<b>60,289</b>
貸倒引当金	▲ 479	社債	10,000
		新株予約権付社債	15,000
<b>固定資産</b>	<b>72,989</b>	長期借入金	8,617
有形固定資産	26,703	退職給付引当金	25,825
無形固定資産	6,846	債務保証損失引当金	846
投資その他の資産	39,439	<b>負債合計</b>	<b>142,425</b>
繰延税金資産	8,813	<b>資本の部</b>	
その他	34,540	<b>資本金</b>	<b>15,541</b>
貸倒引当金	▲ 3,915	<b>資本剰余金</b>	<b>11,012</b>
		資本準備金	11,011
		その他資本剰余金	1
		<b>利益剰余金</b>	<b>540</b>
		中間未処分利益	540
		その他有価証券評価差額金	2,517
		<b>自己株式</b>	<b>▲ 105</b>
		<b>資本合計</b>	<b>29,506</b>
<b>資産合計</b>	<b>171,932</b>	<b>負債及び資本合計</b>	<b>171,932</b>

### ● 中間単独損益計算書

(単位：百万円)

自平成17年3月21日 至平成17年9月20日	
<b>経常損益の部</b>	
<b>営業損益の部</b>	
売上高	87,973
売上原価	70,449
販売費及び一般管理費	15,835
<b>営業利益</b>	<b>1,689</b>
<b>営業外損益の部</b>	
<b>営業外収益</b>	<b>3,138</b>
受取利息・配当金	3,111
雑収益	26
<b>営業外費用</b>	<b>609</b>
支払利息	330
雑損失	278
<b>経常利益</b>	<b>4,217</b>
<b>特別損益の部</b>	
<b>特別利益</b>	<b>82</b>
<b>特別損失</b>	<b>3,523</b>
<b>税引前中間純利益</b>	<b>776</b>
法人税・住民税及び事業税	720
法人税等調整額	▲ 483
<b>中間純利益</b>	<b>540</b>
前期繰越利益	-
<b>中間未処分利益</b>	<b>540</b>

取締役会長	中山 眞
取締役社長	利島 康司
専務取締役	濱田 淳一
常務取締役	松本 健一
常務取締役	武井 紘一
取締役	佐藤 光昭
取締役	鬼頭 正雄
取締役	沢 俊裕
取締役	岩田 定廣
取締役	宮原 範男
取締役	堀田 忠和
取締役	清水 喜文
取締役	宇佐見 昇
取締役	後藤 英樹
取締役	津田 純嗣
常任監査役(常勤)	中村 功
監査役(常勤)	山崎 宗重
監査役	谷 正明
監査役	多喜田 一郎

商号	株式会社 安川電機
英文社名	YASKAWA Electric Corporation
設立	大正4年7月16日
従業員	7,703名(連結) 2,790名(単独)
事業所	本社 〒806-0004 北九州市八幡西区黒崎城石2番1号 電話(093)645-8801
	東京支社 〒105-6891 東京都港区海岸一丁目16番1号 電話(03)5402-4502
	名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅三丁目25番9号 電話(052)581-2761
	大阪支店 〒530-0003 大阪市北区堂島二丁目4番27号 電話(06)6346-4500
	九州支店 〒810-0001 福岡市中央区天神四丁目1番1号 電話(092)714-5331
工場等	八幡西事業所・八幡東事業所・行橋事業所 入間事業所・小倉事業所
営業所	札幌・青森・盛岡・東北(仙台市)・郡山・新潟・ 北関東(小山市)・埼玉(さいたま市)・八王子・横浜・ 山梨(甲府市)・長野・北陸(金沢市)・豊田・ 浜松・京滋(京都市)・岡山・中国・四国(松山市)・ 北九州・熊本

#### 国内関連会社

#### JAPAN

- 株式会社 ワイ・イー・データ  
電算機周辺・端末機器の製造および販売
- 安川情報システム株式会社  
計算処理受託・ソフトウェア開発
- 安川コントロール株式会社  
電気機械器具およびその部分品の製造および販売
- 安川エンジニアリング株式会社  
電気機械設備の保全・整備および技術指導
- 株式会社 安川ロジステック  
製品の保管・輸送等の物流サービス
- 安川モートル株式会社  
電動機、発電機および電動機応用製品の設計、  
製造、販売



## 海外関連会社

### EUROPE

- YASKAWA ELECTRIC EUROPE GmbH (ドイツ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTICS EUROPE AB (スウェーデン)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- MOTOMAN ROBOTEC GmbH (ドイツ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC UK LTD. (イギリス)  
インバータの製造・販売・サービス
- YASKAWA ESHED TECHNOLOGY LTD. (イスラエル)  
モーションコントロール製品の開発および製造

### ASIA

- YASKAWA ELECTRIC (SINGAPORE) PTE. LTD. (シンガポール)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC KOREA CORPORATION (韓国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA-TONGJI M & E CO.,LTD (中国)  
電気機器の製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC(SHANGHAI) CO., LTD.(中国)  
電気機器の輸入・販売・サービス
- SHANGHAI YASKAWA DRIVE CO., LTD.(中国)  
電気機器の製造・販売
- SHOUANG MOTOMAN ROBOT CO.,LTD.(中国)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- YASKAWA ELECTRIC TAIWAN CORPORATION (台湾)  
電気機器の輸入・販売・サービス

### AMERICA

- YASKAWA ELECTRIC AMERICA INC. (アメリカ)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス
- MOTOMAN INC. (アメリカ)  
ロボットおよびロボットシステムの製造・販売・サービス
- SYNETICS SOLUTIONS INC. (アメリカ)  
半導体製造機器の開発・設計・製造・販売
- YASKAWA ELÉTRICO DO BRASIL COMÉRCIO LTDA. (ブラジル)  
電気機器の輸入・製造・販売・サービス

# 株 主 メ モ

決 算 期	3月20日	名義書換代理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月		
基 準 日	3月20日 そのほかあらかじめ 公告して定める日	同 事 務 連 絡 先 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都江東区佐賀一丁目17番7号 〒135-8722 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(フリーダイヤル) 0120-288-324
公告掲載新聞	日本経済新聞	同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
上場証券取引所	東京・福岡		

※当社は中間配当の制度を設けておりません。

## ホームページのご案内

下記の当社ホームページにて、決算情報やニュースリリースを随時ご提供いたしております。  
<http://www.yaskawa.co.jp/>

株式の事務手続き(届出住所・印鑑・姓名等の変更、株券失効の申請、配当金振込指定、単元未満株式買取請求、単元未満株式買増請求、名義書換請求等)書類のご請求につきましては、上記名義書換代理人にてお電話ならびにインターネットにより受け付けておりますので、ご利用ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

フリーダイヤル 0120-288-324

インターネット <http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/>

なお、証券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。



YASKAWA

株式会社 安川電機



- 古紙配合率100%再生紙を使用しています。
- 環境にやさしい植物性大豆油を使用しています。